

令和4年度

定期・行政監査結果報告書

工事監査

所沢市消防団第7分団詰所新設工事

所沢市監査委員



所 監 第 72 号
令和 5 年 3 月 30 日

所 沢 市 長 藤 本 正 人 様

所沢市監査委員 渡 邊 豪

同 三 上 昌 美

同 杉 田 忠 彦

同 石 本 亮 三

定期・行政監査結果について（報告）

地方自治法第199条第2項及び第4項の規定に基づく定期・行政監査を所沢市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定により、その結果について報告書を提出します。

第1 監査の種類

定期・行政監査（工事監査）

第2 監査の対象

所沢市消防団第7分団詰所新設工事

第3 監査の目的

定期・行政監査の一環として、市の事務事業の執行に係る工事について、設計、施工等が適正に行われているか、また、建物等の維持管理が良好であるかを監査する。

第4 監査の主な着眼点

- 1 工事の計画は妥当か。
- 2 事業目的、法令等に適合した設計となっているか。
- 3 積算の数量、金額は正確か、また、その算出根拠は明確か。
- 4 契約方法及びその手続きは適正かつ公正に行われているか。
- 5 法令等を遵守し、設計図書どおり施工されているか。
- 6 監督及び検査、検収、立会いは適正に行われているか。
- 7 設計等の業務委託の内容は適正か。
- 8 その他監査委員が必要と認める事項

第5 監査の期間

令和4年10月7日から令和5年3月30日まで

第6 監査の実施内容

監査の対象となった工事に係わる契約関係書類及び設計図書等の提出を求め、令和5年1月23日に関係者からの説明聴取及び現場実査を行い、工事が適法に合理的かつ能率的に行われているか、また、品質が確保されているかを財務事務及び技術面を通して監査した。

なお、「協同組合 総合技術士連合」に工事技術調査を委託した。

第7 工事技術調査を実施した技術士

谷口 英武 技術士（建設部門）

第8 監査の結果

関係書類は整備され、施工も設計図書に従って実施されていた。

また、品質についても確保されており、本工事は適正に執行されているものと認められた。

なお、詳細は以下のとおりである。

1 計 画

消防団第7分団詰所は、現在、山口民俗資料館の一部を借用し使用しているため、車庫と詰所が分離しており、消防団活動に不便が生じている。また、市内に10箇所ある消防団詰所のうち、間借りしている詰所は第7分団のみであることから、本工事は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化のため、新たな詰所を建設するものである。

なお、本事業は、第6次所沢市総合計画の第1章「人と人との絆を紡ぐまち」、第6節「危機管理・防災」における「地域防災体制の強化」を基本方針としており、実施計画（2022年～2025年）の

中の優先事業に位置付けられている。

2 設 計

本施設は、地域の消防・防災活動の拠点として貢献できる消防団施設として、消防団員、施設利用者の導線に配慮し、必要な設備、備品保管場所を機能的に配置することで、効率的な消防活動が可能となるよう設計されていた。

さらに、多様性の観点から、男子トイレだけでなく、多目的トイレを設けているほか、屋根の荷重は太陽光発電設備の積載荷重を見込んだ設計となっていた。

また、建物は敷地周辺の自然豊かな環境に溶け込めるよう、色彩は奇抜なものを避け、景観と調和のとれた建物となるように配慮されていた。

3 積 算

設計業務委託により積算を行い、設計事務所が、埼玉県建築工事積算基準／埼玉県建築工事共通費積算基準、公共建築工事標準単価積算基準（国土交通省）、公共建築数量積算基準・同解説（国土交通省）などに基づき積算・見積を実施、営繕課の監督員及び総括監督員が成果物の確認を行っていた。

なお、単価については、主要資材単価、市場単価、埼玉県建築・電気設備・機械設備工事積算標準単価表等を根拠としていた。

4 契 約

設計業務委託は5者による指名競争入札が行われ、落札率は71.

7%であった。その後、1階車庫に消防車格納用の大きな開口があることから、保有水平耐力の計算が必要な構造設計を実施したところ、構造計算適合性判定を受ける必要が生じたため変更契約を行った。

新設工事は、当初、一般競争入札（電子入札）により、令和4年6月6日を開札予定日として入札事務を進めたが、入札書の提出締切時において、入札参加申込みがあった5者のうち4者が辞退届を提出し、1者は入札書の提出がなかったことから、応札者がいない状況となったため入札は取止めとなった。

このため、改めて設計の見直しを行い、令和4年7月6日に再度一般競争入札（電子入札）を行い、1者から応札があり、落札率は99.7%であった。

契約についての諸手続きは、いずれも適正に執行されており、契約図書も適正に管理されていた。

5 施 工

施工体制については、施工体系図を基に関係書類を確認したところ、適正であった。

品質管理については、適正に検査が実施され、コンクリート強度試験結果等、各種試験結果の記録が保管されていることを確認した。

工程管理については、3週間工程表及び月間工程表を作成し行われていた。

安全管理については、毎日の朝礼、安全巡視により、安全注意事項の工程打ち合わせを実施し事故の防止等に努めており、大型車が入り出す場合に交通誘導員を配置し、通行や車両の安全対策も実施していた。

また、騒音、振動対策については、機械、重機類は低騒音、低振動の機材を使用し、建築物の杭についても低騒音、低振動の羽根付鋼管杭工法を採用した配慮を行っていた。

6 検 査

監督員による立会検査は工程ごとに実施し、出来形寸法及び施工状況を確認していた。また、材料の受入時は監督員の立会いのもと、品質、形状寸法及び員数を確認していた。

工事検査は、所沢市工事検査要領に基づき、契約課工事検査員により中間検査を2回実施していた。

7 むすび

本工事の計画、調査、設計、仕様、積算、契約、施工管理、検査、監理、監督等の各段階における財務事務及び技術的事項は良好と認められた。

なお、工事は、無事故で、周辺住民から騒音、振動、粉じん、濁水等の苦情もなく、令和5年3月10日に竣工し、同3月13日に完成検査が行われ合格した。今後、本施設により消防団活動の充実が図られ「地域防災体制の強化」に繋がることを望むものである。

所沢市消防団第7分団詰所新設工事概要

1 工事場所

所沢市大字上山口1209番地の2

2 工事内容

消防団詰所の新築：鉄筋コンクリート造2階建て

敷地面積：491.94㎡

建築面積：84.75㎡、延床面積：160.75㎡

杭基礎工事：鋼管杭L=7.0m 計12本

ホースタワーの新設：H=12.0m

擁壁新設：H=1.5～2.4m、L=44.9m

外構工事一式

電気設備工事一式

機械設備工事一式

3 設計業務

受注者 株式会社 サナクト

契約金額 7,591,570円

4 新設工事

受注者 ニシキ建設株式会社

契約金額 95,920,000円

工期 令和4年7月8日～令和5年3月15日

進捗率 68.00% (令和5年1月23日現在)